

ふくふくファンド 2008 年度 助成事業報告書

2009年 4月 10日

団体名（ふりがな）	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人	すぺしやるおりんびっくすにっぽん スペシャルオリンピックス日本・宮城
事業名	プロジェクターとスクリーンの購入	
連絡担当者お名前（ふりがな）	つぼ え ひろ み 坪 江 裕 美	さいとう まなみ (齋藤 真奈美)
<p>助成金を使って行った事業について、記述してください。 (活動の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください) 今回の助成金では、プロジェクターとスクリーンの購入が目的でした。 念願が叶い、プロジェクターを購入する事が出来(予算の関係でスクリーンの購入は今回見合わせました)、下記のような活動が展開されておりますので、ご報告申し上げます。</p> <p>① 12月9日 運営委員会 当法人を運営する為に不可欠な、月1回開催される定期会議において、各委員会の報告、協議事項、世界大会への選手・コーチ派遣、理事会、総会等の資料をプロジェクターを使用することにより、資料のペーパーレス化を図ることが出来、消耗品費の抑制につながった。 また、参加者全員が同一方向をみつめながら会議をすすめることにより、意識の集中化を図り、時間短縮の一助にもなった。</p> <p>② 12月16日 広報委員会・ボランティア委員会・スポーツプログラム委員会 スポーツプログラム委員会において、コーチを対象にした『ミニクリニック』をプロジェクターを用いて開催し、恒常的に勉強をすることによりコーチのレベルアップ、スキルアップを図り、ひいては当法人の基盤力強化につなげることができた。</p> <p>③ 12月17日 第3回理事会 2009年2月に開催される総会に向けての、事業・決算報告、事業・予算計画等、当法人の根幹となる議題を協議する理事会においても、プロジェクターを使用することでスムーズに会議をすすめることが出来た。</p> <p>④ 1月7日 常務会</p> <p>⑤ 1月13日 運営委員会</p> <p>⑥ 1月24・25日 SON・青森 SKIコーチクリニック SON・宮城の佐藤田鶴子理事がナショナルトレーナーとして青森に派遣され、青森でのスキーコーチを対象に勉強会を開催した。 当法人では、自分達の地区だけを対象に活動するのではなく、全国的・グローバルな視野に立って勉強会や交流会などを行っている。 特に東北ブロックではプロジェクターを保有している地区が少なく、宮城地区に限らず、広範囲・多岐にわたり有効に活用することが出来るようになった。</p> <p>⑦ 1月27日 広報委員会・ボランティア委員会・スポーツプログラム委員会</p> <p>⑧ 1月28日 常務会</p>		

助成金を使って行った事業について、記述してください。(続き)

- ⑨ 2月3日 運営委員会
- ⑩ 2月5日 第1回理事会
- ⑪ 2月17日 広報委員会・ボランティア委員会・スポーツプログラム委員会
- ⑫ 3月4日 常務会
- ⑬ 3月10日 運営委員会
- ⑭ 3月17日 広報委員会・ボランティア委員会・スポーツプログラム委員会
- ⑮ 3月28日 ゼネラルオリエンテーション、コーチクリニック

スペシャルオリンピックスの使命・歴史・理念や活動方針、アスリート理解、ボランティアの役割など、SOの基本的なことを学ぶ講習会において、プロジェクターは必要不可欠なツールとなっている。

また、コーチとしてはじめて参加するボランティアの方々はじめ、継続的にプログラム活動に携わっているコーチ達の講習会の場である『コーチクリニック』においても、プロジェクターの使用は必須である。

ゼネラルオリエンテーション、コーチクリニック共にパワーポイントによる説明が主で、プロジェクターは欠くことの出来ないツールであったにも拘らず、今迄は企業のご厚意に甘えて借用しており、日程の調整等に変苦慮していたが、購入出来たことで解消され、先々の計画も立てやすくなった。

- ⑯ 4月12日 石巻地区・コーチクリニック・説明会



今回の事業によって、団体全体の活動にどのような成果・効果がありましたか

- ① 説明会等でプロジェクター使用することにより、ビジュアルに訴える効果によって理解度を深め、参加者によりわかりやすく説明することが出来、又興味をそそることでアスリート会員やボランティア会員の増員につながった。
- ② ペーパーレス化に伴う、消耗品費の削減
- ③ プロジェクターによる同一方向視点集中によって、会議等における意識集中と時間の短縮。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか。また、その際に必要なものは何ですか

《今後の展開》

- ① ファンドレイジングの為の講演会開催
当法人を運営するための急務のひとつとして財源の確保がある。
当法人は各企業や個人からの寄付や講演会やイベント等の収入で会を運営している為、ファンドレイジングにつながる活動を多岐・多数にわたり展開していきたい。
その一助としてプロジェクターを有効に活用していきたい。
- ② ボランティア募集の為の説明会・講習会
当法人を運営するにあたり、ボランティアの確保も必要不可欠である。
恒常的なボランティア不足を解消するためにも、さまざまな場所・日時においてボランティア募集の説明会や講習会をするにあたり、プロジェクターの活用は必須である。
- ③ 新地区におけるミニクリニック開催
2010年を目標にした中期ビジョンにおいて、県内の各地区におけるSOのプログラム展開において、石巻・気仙沼・栗原・白石と着実にSOの輪を広げているが、確実にプログラム活動が根付くまでは各地区に足繁く通い、こまめに活動フォローをすべく『説明会』と『ミニクリニック』を開催していきたい。その際にもプロジェクターは重要なツールとして活用していきたい。

《今後必要なもの》

- ① スクリーン
- ② ビデオカメラ
- ③ デジタルカメラ

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ファンド助成金	100,000	ふくふくファンド助成金交付
合計	100,000	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
プロジェクター購入	182,980	100,000円を助成金より充当
		残82,980円を当法人にて負担
合計	182,980	

宮城県労働者福祉協議会様へのメッセージをどうぞ。

『ふくふくファンド』の助成交付を賜り、当法人の希望であったプロジェクターを購入することが出来ました事、誠にありがとうございました。
当初私たちが想像していた以上に、プロジェクターの活用頻度や存在意義などに思いがけない発見をし、嬉しい驚きを感じている日々であります。
プロジェクターを購入してからの約4ヶ月間は、当法人内での使用頻度が高かったのですが、これからは外へ向けての活動にもどんどん有効活用させ、ファンドレイジングや人材の確保など顕著な効果が得られるよう、展開していきたいと計画しています。
今後の当法人の発展に、今回の助成金が大変役立ちますことに感謝申し上げます。